



TEACCH研究会愛知支部セミナー 「各ライフステージにおいて 大切にしたいこと」

先日刈谷で行われたセミナーに参加してきました。テーマは「各ライフステージにおいて大切にしたいこと」いうものですが、単純に言えば「その人がその人らしく生きていくために、どのような視点を持ってどう支援していくか」ということで、まごころの「地域で普通に暮らす」という理念に通じていました。

TEACCHとは自閉症児者とその家族への生涯にわたる支援のシステムの名称で、過ごしやすい環境設定など、さまざまな手法がありますが、あくまで「その人らしく」が基本です。

講師の児童精神科医、宇野洋太先生は、学生時代のガイドヘルパーの経験や、現在の事例などをたくさんお話されながら、自閉症の方が成長していく過程で大切にしたいことを丁寧に説明して頂きました。特に印象深かったのは、

「社会に出たら厳しいから…援助に頼ってたら…」などと言われる、しかしあたかも荒れた大海原を独りボートで渡るようなことが社会生活なのだろうか？」

確かに自分を振り返ってみてもそんな環境ではないことは明らかです。紙面に限りがありますので割愛しますが、結論の「自閉症でOK!」というの誰にも通じるもので、誰もが自分らしくいられる社会をめざしていきたいものだと強く感じました。



テイサービス通信

花を愛で花作り



5 月の中旬、浅井山公園へバラの花を見に出かけました。色とりどりのバラの花と香りを愛でることができました。

次の週からはペーパークラフトで、立体のバラの花を作りました。色画用紙をハート型に切ったパーツを何枚か組み合わせ、花びらを箸などでカールさせ、出来上がったものは本当にバラの花のようでした。

感心された何人かの方は、作り方の紙を持ち帰り「家でも作ってみるわ…」と意欲的でした。

6 月に入って、花菖蒲も見に出かけました。梅雨の時季に入り、体調管理に気を付けて元気に過ごしたいと思います。



浅井山公園へ

バラのペーパー
クラフト



萬葉公園へ

心づれづれ

自転車



私は外出時、大抵自転車を使います。自転車で、周囲の街並み、景色を横目で見ながら走ると、色々な発見があります。キジ・鴨・サギなどの野鳥、人の背丈ほどもあるアロエと似た植物、水蓮・布袋葵の花など、珍しい出会いもあります。

時には、金木犀・蜜柑・バラの花や、コーヒーの香りが漂ってくることもあり、ちょっと幸せな気分になれます。最近忘れっぽくなったので、脳トレーニングに横を走る車のナンバーで足し算したりもします。つくづく、自転車を発明した人に感謝したい気持ちです。

しかし、こんな自転車にも弱点はあります。最近の自転車は、タイヤが丈夫になったせいか、あまりパンクしません。でも、長く乗り続けていて、突然パンクしてしまった時は大変困りました。見てみると、タイヤがいつの間にか擦り減って穴が開いていました。それからは、時々タイヤが擦り減っていないか見て、早めにタイヤ交換を心掛けるようにしています。また、雨の日は合羽を着るのですが、今まで満足できる合羽がなくて困っていました。ところが最近、ポンチョ型で前かごも覆える物を使っている人を見かけ、早速購入しました。使い勝手が良く、雨の日もそう苦にならなくなりました。

自転車は運動にもなるし、心も軽くなる、私のお気に入りの乗り物です。これからも大切に乗りたいと思います。

協会会員 長谷川典子



作品：末松ナツエ

ヘルパーだより

No. 48

A子さん(89歳、要支援2)とご主人(90歳、要介護5)は若い頃は自宅で繊維のお仕事をしながら家事も分担し合い、二人のお子さんを育て上げられました。子ども達が独立されてからも、二人で支え合いながら大変な時代を乗り越えてこられました。

ご主人に介護が必要になってからは、A子さんは着替え、洗濯、夜中のオムツ交換と休みなく本当に良く動いておられました。頑張っておられる姿に私達ヘルパーが元気をもらい、入浴介助や食事作りを8年間楽しく支援させて頂いていました。

しかし、今年4月にご主人の様態が急変し救急車で搬送されましたが、わずか半日で帰らぬ人となってしまいました。動脈瘤でした・・・

最近のA子さんは、笑顔でピースをしているご主人の写真の前で、お経を唱えるのを日課とされています。「もう一度お父ちゃんに会いたい・・・」と本音もちらり口にされる時もありますが、「独りでこの家で暮らして行くことにしました」と穏やかに話される声は力強く、ご主人の介護を立派にやりきった安堵の表情に溢れています。

これからは、悲しみを勇気に変えてどうか長生きしてください。安心して過ごしていただけるよう、週3回の訪問で支えて参ります。



利用者さんからのことば・・・

まごころさんの真心こもった支援のお蔭で、頑張ることができました。本当に感謝しています。これからも、ヘルパーさんが来てくれるので嬉しいです。

